

経営比較分析表（平成28年度決算）

宮崎県日向市 日向市立東郷病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
62,746	1,228	第2種該当	否	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

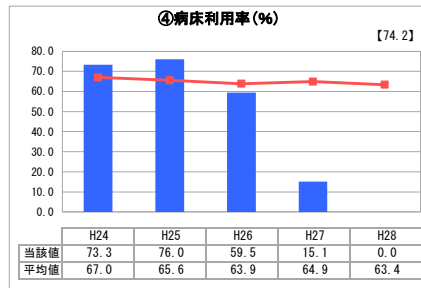
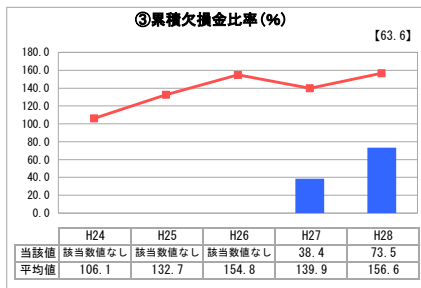
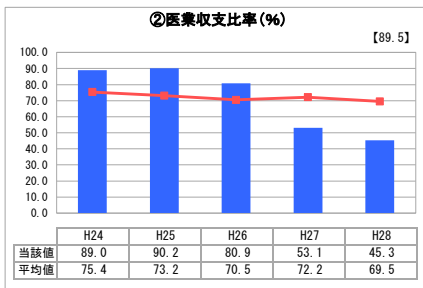
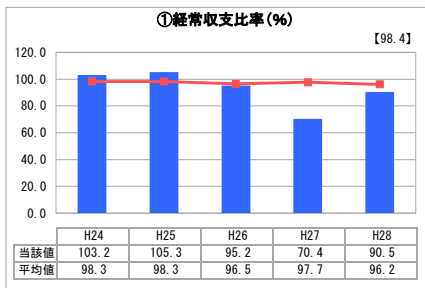
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
30	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	30
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

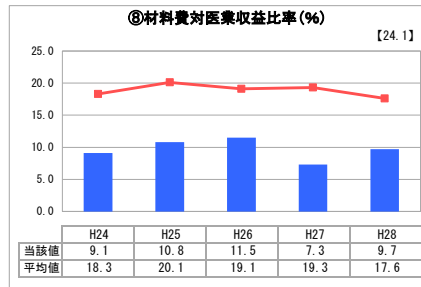
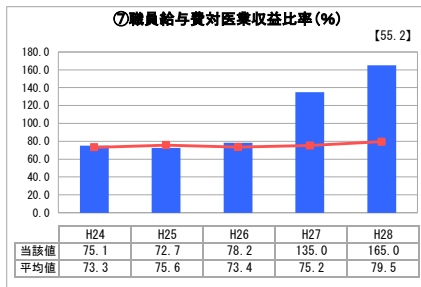
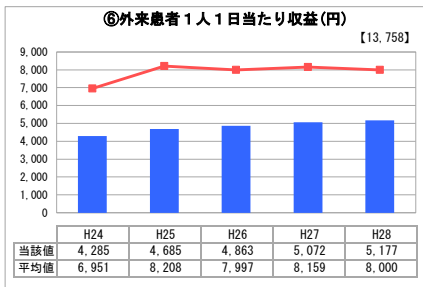
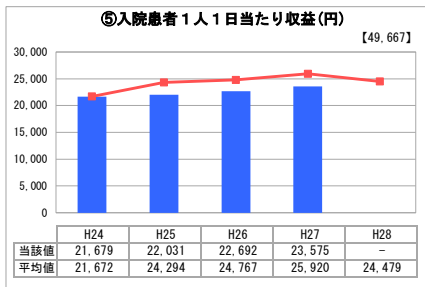


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



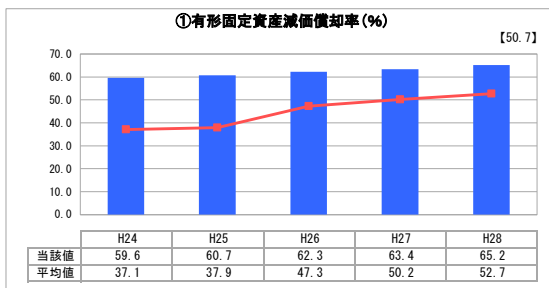
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

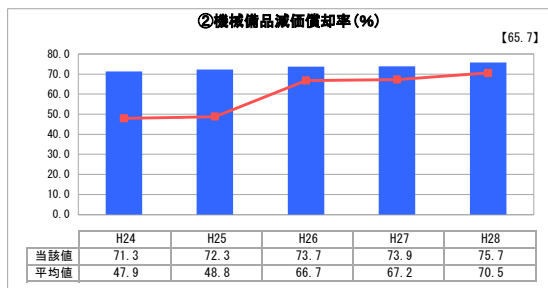
「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

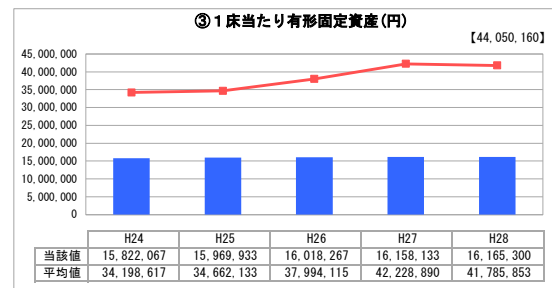
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

日向市内で唯一の公立病院として、また、国民健康保険直営診療施設として、不採算地区とされる東郷地区における地域医療の中心的役割を担いつつ、保健及び福祉との連携により地域住民の健康維持や健康増進の役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度は医師体制が整わず、年間を通して入院診療を休止していたため、④病床利用率及び⑤入院患者1人1日当たり収益は「ゼロ」となった。

一方で、診療縮小により、職員給与費と材料費等の医業費用は減少したものの、医業収益の柱である入院収益が皆減となったため、②医業収支比率は減少し、⑦職員給与費対医業収益比率及び⑧材料費対医業収益比率は増加している。

このような状況の中、一般会計繰入金が増額により収益を補ったため、①経常収支比率は前年度と比較して改善したが、平成27年度に引き続き純損失を生じたため、累積欠損金が増加し③累積欠損金比率は増加する結果となった。

なお、年度途中に医師増員及び診療科の拡充を行ったため、⑥外来患者1人1日当たり収益は、増加している。

2. 老朽化の状況について

昭和49年に建設された病院施設の老朽化は深刻化しており、医療機器の更新も含めた改築計画を策定したが、診療縮小により、計画を休止している状態であり、設備投資については、必要最小限度に抑えている状況にある。

全体総括

常勤医師の欠員に伴う診療体制の縮小により、平成27年途中から入院病床の閉鎖を余儀なくされるなど、非常に厳しい経営状況に陥っている。また、老朽化している施設、設備の更新についても、医師確保及び診療体制の再構築が前提であることから、休止せざるを得ない状況になっている。

まずは、病院機能の回復に向けた取り組みが最優先課題となっている。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。